

工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

全工事（第1評定者）

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
			施工体制が適切である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である	
1 施工体制	I. 施工体制一般  I-2 一括下請負  ※( )内は下請総額 <b>3000</b> 万円(建築一式 <b>4500</b> 万円)未満の場合とし、処分事項とはならない。	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 施工計画書の記載内容と現場の施工体制等が一致している。 <input type="checkbox"/> 2. 施工体制台帳の写し(下請通知書)を提出した。 <input type="checkbox"/> 3. 施工体制台帳に下請負契約書等の写し及び再下請負通知書を添付している。 <input type="checkbox"/> 4. 施工体制台帳(下請通知書)に下請金額を記入している。 <input type="checkbox"/> 5. 提出された施工体制台帳と同一のものが現場に備え付けられている。 <input type="checkbox"/> 6. 施工体系図(元請・下請関係者一覧表)が整備され現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げられ、現場と一致している <input type="checkbox"/> 7. 「建設業許可」、「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」及び「労災保険加入」の標識が現場に掲示してある。 <input type="checkbox"/> 8. 建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿により適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 9. 元請負人が下請工事の施工に実質的に関与している。 <input type="checkbox"/> 10. 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 11. その他(理由: )				<input type="checkbox"/> 1. 左記「評価対象項目」のうち、2, 5, 6, 9のいずれかが×である。  上記1項目でも該当事項があれば …… e	
		・該当項目が80%程度以上…………… b ・該当項目が60%～80%程度…………… C ・該当項目が60%程度以下…………… d				① 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする	
II. 配置技術者(現場代理人)	※評価対象項目4は請負金額 <b>2500</b> 万円(建築一式 <b>5000</b> 万円)以上の場合該当し、請負金額が <b>2500</b> 万円(建築一式 <b>5000</b> 万円)未満の場合は、評価対象項目5が該当となる。	a	b	c	d	e	
		技術者が適切に配置されている	技術者がほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 現場代理人は、現場に常駐している。また工事全体の把握が出来ている。 <input type="checkbox"/> 2. 現場代理人として、監督員との連絡調整を书面で行っている。 <input type="checkbox"/> 3. 工事カルテの登録は、監督員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。 <input type="checkbox"/> 4. 主任技術者又は監理技術者が現場に専任していた。 <input type="checkbox"/> 5. 主任技術者を配置し、施工の技術上の管理をしていた。 <input type="checkbox"/> 6. 主任技術者は、積極的に良好な施工に努めていた。 <input type="checkbox"/> 7. 監理技術者が所持する監理技術者証が、本人のものであり、当該資格、有効期限が適切であった。 <input type="checkbox"/> 8. 専門技術者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> 9. 作業主任者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> 10. 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 11. その他(理由: )				<input type="checkbox"/> 1. 左記「評価対象項目」のうち、1, 4, 7, 8のいずれかが×である。  上記1項目でも該当あれば …… d 2項目以上該当あれば …… e	
		・該当項目が90%程度以上…………… a ・該当項目が80%～90%程度…………… b ・該当項目が60%～80%程度…………… c ・該当項目が60%程度以下…………… d				前述と同じ	

工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

全工事（第1評定者）

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
			施工管理が適切である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である	
2 施工 状況	I. 施工管理	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 施工計画書の記載内容が設計図書の内容及び現場条件を反映したものと なっている。 <input type="checkbox"/> 2. 施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 3. 工事材料の使用及び調達計画が十分なされ、管理されている。 <input type="checkbox"/> 4. 品質確保のための対策など施工に関する工夫を書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 日常の出来形管理が適時、的確に行われている。 <input type="checkbox"/> 6. 日常の品質管理が適時、的確に行われている。 <input type="checkbox"/> 7. 現場でのイメージアップに積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 8. 社内検査員の資格（身分及び経歴）が適正である。また社内検査員に関 する資料を書面で提出した。 <input type="checkbox"/> 9. 社内検査は出来高、品質及び写真管理等、工事全般にわたり、適切に実 施されている。 <input type="checkbox"/> 10. 立会確認の手続きが事前になされている。 <input type="checkbox"/> 11. 段階確認の確認時期が適切な時期に行われている。 <input type="checkbox"/> 12. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 13. 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき 作成し、施工計画書に含め提出している。 <input type="checkbox"/> 14. 現場内での整理整頓が日常的になされている。 <input type="checkbox"/> 15. 使用材料等の品質保証書または工事記録写真等が適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> 16. 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対す る改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> 17. その他（理由： _____）				<input type="checkbox"/> 1. 設計図書と 適合しない箇所が あり、文書により 改造請求を行っ た。 <input type="checkbox"/> 2. 施工計画書 が工事着手前に提 出されていない。 <input type="checkbox"/> 3. 定められた 工事材料の検査義 務を怠り、破壊検 査を行った。 <input type="checkbox"/> 4. 契約図書に 基づく施工上の義 務につき、監督員 から文書により改 善指示を行った。  上記1項目でも該 当であれば …… d 2項目以上であれ ば …… e	
		・該当項目が80%程度以上…………… b ・該当項目が60%～80%程度…………… C ・該当項目が60%程度以下…………… d					前述に同じ
	II. 工程管理	工程管理が適切で ある	工程管理がほぼ適 切である	他の事項に該当し ない	工程管理がやや 不備である	工程管理が不備で ある	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。 <input type="checkbox"/> 2. 時間制限・片側交互通行等の各種制約があるにもかかわらず工程の短縮 を行った。 <input type="checkbox"/> 3. 現場条件の変更への対応が積極的で処理が早く、また地元調整を積極的 に行い円滑な工事進捗を行った。 <input type="checkbox"/> 4. 作業員の休日の確保を行った。 <input type="checkbox"/> 5. 工程表の内容が検討され充実している。また現場事務所での工程管理を 工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握されている。 <input type="checkbox"/> 6. 夜間や休日等の作業が少なく、余裕をもって工期前に完成した。 <input type="checkbox"/> 7. 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。または指摘事項に対 する改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> 8. その他（理由： _____）				<input type="checkbox"/> 1. 請負者の責 により工期内に工 事を完成させなか った（但し、改善 指示による場合を 除く） 上記該当あれば …… e <input type="checkbox"/> 2. 自主的な工 程管理がなされ ず、監督員から文 書により改善指示 を行った。 上記該当あれば …… d	
		・該当項目が90%程度以上…………… a ・該当項目が80%～90%程度…………… b ・該当項目が60%～80%程度…………… C ・該当項目が60%程度以下…………… d					前述に同じ

工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法]OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

全工事（第1評定者）

審査項目	細 別	a	b	c	d	e
		安全対策が適切であった	安全対策がほぼ適切であった	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった
2 施工 状況	Ⅲ. 安全対策	<p>「評価対象項目」</p> <p>□1. 災害防止（工事安全）協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。</p> <p>□2. 安全パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。</p> <p>□3. 安全教育・訓練等を半日/月以上適時、的確に実施し、記録が整備され、かつ創意工夫をしている。</p> <p>□4. 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。</p> <p>□5. 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。</p> <p>□6. 過積載防止に積極的に取り組んでいる。</p> <p>□7. 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、管理されている。</p> <p>□8. 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。</p> <p>□9. 山留め、仮締切等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。</p> <p>□10. 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。</p> <p>□11. 工事現場における保安施設等の整備・設置・管理が的確であり、よく整備されている。</p> <p>□12. 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者には是正報告している。</p> <p>□13. 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。</p> <p>□14. その他（理由： _____）</p>				<p>□1. 安全対策の不備により重大な災害等を受けた。</p> <p>上記該当あれば……e</p> <p>□2. 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であった。</p> <p>上記該当あれば……d</p>
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 価値（%）=（ ）評価数 / （ ）対象評価項目</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする</p> </div>				
		<p>・該当項目が90%程度以上…………… a</p> <p>・該当項目が80～90%程度…………… b</p> <p>・該当項目が60%～80%程度…………… c</p> <p>・該当項目が60%程度以下…………… d</p>				

工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法]OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

全工事（第1評定者）

審査項目	細別	a	b	c	d	e
		対外関係が適切であった	対外関係がほぼ適切であった	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備であった	対外関係が不備であった
2 施工状況	IV. 対外関係	<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 工事施工にあたり、関係官公庁等の関係機関と調整し、トラブルの発生がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 工事施工にあたり、地元との適切な調整を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 苦情に対して的確に対応し、良好な対外関係であった。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 積極的な地元対策を実施し、第三者からの苦情がなかった。または苦情によるトラブルが少なかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 隣接工事又は、施工上密接に関連する工事の請負業者と相互に協力を行って工事全体の円滑な進捗に寄与している。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 現場内の作業で、近隣住民に故意や過失により迷惑をかける行為がなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> 8. その他（理由： ）</p>				<p><input type="checkbox"/> 1. 関連工事との調整に関して発注者の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。 上記該当であれば……e</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 請負者の対応による苦情が多い。または対応が悪くトラブルがあった。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 関係法令に違反する恐れがあったため、監督員から文書により指示を行った。 上記該当であれば……d</p>
		<p>① 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>④ 価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする</p>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当項目が83%程度以上……………a</li> <li>・該当項目が66%～83%程度……………b</li> <li>・該当項目が65%程度以下……………C</li> </ul>				

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第1評定者）

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		□1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 ※ばらつきの判定は別紙-4参照	□1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。	□1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	□1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
3 出来形及び品質	I. 出来形	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     ① 出来高の評定は、工事全般を通したものとす。                      ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。                      ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。                 </div>			□1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記項目に該当があれば……d	□1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば……e
	I. 出来形	a 出来形管理が適切である	b 出来形管理がほぼ適切である	c 他の項目に該当しない	d 出来形管理がやや不備である	e 出来形管理が不備である
	上記欄により評価できない場合は、当該欄で評価する。	[評価対象項目] □1. 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。 □2. 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。 □3. 管理基準により、適切に管理している。 □4. 写真管理基準により、創意工夫を持って適切に管理している □5. 出来形の形状、寸法が設計値（設計図書）を満足し、ばらつきが少ない。 □6. 出来形の性能、機能が設計値（設計図書）を満足し、ばらつきが少ない。 □7. その他（理由： ）			□1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……d	□1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば……e
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」の内、評価対象外の項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。                      ③ 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする                 </div>				
		・該当項目が90%程度以上……a ・該当項目が80%～90%程度……b ・該当項目が60%～80%程度……c ・該当項目が60%程度以下……d				

工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第1評定者）

審査項目	細別	a	b	c	d	e		
		<input type="checkbox"/> 1. 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。		<input type="checkbox"/> 1. 品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。		<input type="checkbox"/> 1. 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。		<input type="checkbox"/> 1. 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
3 出来形及び品質	II. 品質	① 品質の評定は、工事全般を通したのものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく品質を確保する管理体系である。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当であれば……d		<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づき被壊検査を行った。  上記該当であれば……e	
	II. 品質	a	b	c	d	e		
	上記欄により評価できない場合は、当該欄で評価する。	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である		
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1. 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 2. 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 3. 施工図・施工計画が適切に作成され、関連工事との調整がなされている。 <input type="checkbox"/> 4. 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 5. 品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 6. 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 7. 各種試験又は試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 8. その他（理由： ）			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記項目に該当があれば……d		<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記に該当があれば……e	
		④ 当該「評価対象項目」の内、評価対象外の項目は削除する。 ⑤ 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ⑥ 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする						
		該当項目が90%程度以上……a 該当項目が80%～90%程度……b 該当項目が60%～80%程度……c 該当項目が60%程度以下……d						

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

建築・電気設備・機械設備工事（第1評定者）

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
		□出来形管理が適切である。	□出来形管理がほぼ適切である。	□他の項目に該当しない。	□出来形管理がやや不備である。	□出来形管理が不備である。
3 出来形及び品質	I. 出来形 建築工事・電気設備工事・機械設備工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1. 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 管理基準により、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 4. 写真管理基準により、創意工夫を持って適切に管理している <input type="checkbox"/> 5. 出来形の形状、寸法が設計値（設計図書）を満足し、ばらつきが少ない。 <input type="checkbox"/> 6. 出来形の性能、機能が設計値（設計図書）を満足し、ばらつきが少ない。 <input type="checkbox"/> 7. その他（理由： ）			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。  該当項目があれば……d	<input type="checkbox"/> 契約約款17条2項もしくは3項に基づき被壊検査を行った。  該当項目があれば……e
		該当項目が90%程度以上……a 該当項目が80%～90%程度……b 該当項目が60%～80%程度……c 該当項目が60%程度以下……d				
	II. 品質 建築工事・電気設備工事・機械設備工事	a	b	C	d	e
		□品質管理が適切である。	□品質管理がほぼ適切である。	□他の項目に該当しない。	□品質管理がやや不備である。	□品質管理が不備である。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1. 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 2. 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 3. 施工図・施工計画が適切に作成され、関連工事との調整がなされている。 <input type="checkbox"/> 4. 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 5. 品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 6. 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 7. 各種試験又は試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 8. その他（理由： ）			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば……e
該当項目が90%程度以上……a 該当項目が80%～90%程度……b 該当項目が60%～80%程度……c 該当項目が60%程度以下……d					前述に同じ	

4 高度 技術	I. 高度技術	技術力キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
	キーワード 評価	<p>■施工規模への大きさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 施工規模が大きい。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. その他（理由： ）</p>	<p>※契約金額3,000万円以上の工事に適用する。 【施工規模が大規模】高度技術で評価できる場合 「契約金額 1億5千万円以上の工事の場合」</p>
		<p>■構造物固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 対象構造物の形状の複雑さ（土被り厚やトンネル線形等を含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 構造形式が鉸桁や構造が単純な箱桁以外の鋼橋上部工事及び構造形式が桁橋以外のPC橋上部工事</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 6. その他（理由： ）</p>	<p>【事例：構造物固有な施工難度と対応工法等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地山強度が低い。また土被りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。</li> <li>・砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。</li> <li>・鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。</li> <li>・供用中の道路トンネルの括線拡幅工事。</li> <li>・施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。</li> <li>・VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合。</li> <li>・構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</li> <li>・その他、構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</li> </ul>
		<p>■技術固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 工種及び工法の特異性</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用</p> <p><input type="checkbox"/> 9. シールド工法による下水道工事</p> <p><input type="checkbox"/> 10. その他（理由： ）</p>	
	<p>■厳しい自然・地盤条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時）</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 軟弱地盤、支持地盤の状況</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 河川内・海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約</p> <p><input type="checkbox"/> 14. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等</p> <p><input type="checkbox"/> 16. その他（理由： ）</p>	<p>【事例：自然及び地盤条件への対応工法等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。</li> <li>・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。</li> <li>・軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日（待ち時間）が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。</li> <li>・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制約される工事。または命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く）</li> <li>・斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。</li> <li>・海域及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。</li> <li>・波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設償や作業工程から潜水夫を多用した工事。</li> <li>・国立公園内での工事。またはイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。</li> <li>・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制約を受けた工事。</li> <li>・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</li> </ul>	



工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマーク、・に○を記入する。

土木工事（第1評定者）

4 高度 技術	I. 高度技術 キーワード 評価	技術力キーワード一覧表	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例
		<p>■厳しい周辺環境等、社会条件への対応</p> <p>□17. 地中埋設物等の地中内の作業障害物</p> <p>□18. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線、建築物等の近接物</p> <p>□19. 生活道路を利用しての資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約</p> <p>□20. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業</p> <p>□21. 工事区域周辺の航行船舶への配慮</p> <p>□22. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等</p> <p>□23. その他（理由： ）</p>	<p>【事例：周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要になった工事等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横断函渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガス管・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。</li> <li>・鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事。</li> <li>・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする跨線橋又は跨道橋工事。</li> <li>・供用中の道路（概ね日交通量1万台以上）で片側交互通行の交通規制をした工事。</li> <li>・一般船舶の航行が多く、工事実施にあたり、関係機関等との調整及び施工上の制約が多い工事</li> <li>・支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事。</li> <li>・工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事。</li> <li>・地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。</li> <li>・工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。</li> <li>・工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。</li> <li>・環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。</li> <li>・施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。</li> <li>・大気圧を越える気圧下の作業室での工事。</li> <li>・酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上・水面から10m以上（10m以下）での工事。</li> <li>・工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事。</li> <li>・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</li> </ul>
		<p>■施工現場での対応</p> <p>□24. 災害等での臨機の処置</p> <p>□25. 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案（VEを含む）と対応等</p> <p>□26. その他（理由： ）</p>	
		<p>■その他</p> <p>□27. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項（理由： ）</p>	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。</li> </ul>
	<p>記述評価 【レマークを付したキーワード項目について評価内容を概略記述】</p>	<p>評点： _____ 点</p> <p>※・高度な技術力は、加點評価とする。                      ・加點は+10点～0点の範囲とする。                      ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。</p> <p>1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。</p>	<p>【高度技術のキーワードの概略】</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

※1. 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術を評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。

※2. 概略評価の記述にあたっては、担当課長及びグループ担当との合議とし、具体的な評価技術力項目及び工事事例を参考とし、高度な技術力を記述する。

※3. 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルであるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

4 高度 技術	I. 高度技術	技術力キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
	キーワード 評価	<p>■施工規模への大きさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 施工規模が大きい。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. その他 (理由: )</p>	<p>※契約金額3,000万円以上の工事に適用する。 【施工規模が大規模】高度技術で評価できる場合 「契約金額 1億5千万円以上の場合」</p>
		<p>■構造物固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 対象構造物の形状の複雑さ</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 5. その他 (理由: )</p>	<p>【事例：構造物固有な施工難度と対応工法等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>隣接した建築物で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。</li> <li>施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。</li> <li>特殊構造物等における工事で、特許工法等技術的に検討が必要な工事。</li> <li>その他、特殊な工法及び材料等を用いた工事</li> <li>VE提案された工法等が高度な技術として評価できる場合。</li> <li>歴史的建造物で施工に熟練が求められ、かつ、高度な技術として評価できる場合。</li> </ul>
		<p>■技術固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 構造及び工法の特異性</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 新工法及び新材料の適用</p> <p><input type="checkbox"/> 8. その他 (理由: )</p>	
		<p>■厳しい自然・地盤条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 湧水の発生、地下水の影響 (振削時)</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 軟弱地盤、支持地盤の状況</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 地盤条件等及び作業スペース等の制約</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温等の影響</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 地すべり等の地質条件、動植物等、歴史的埋蔵文化財に対する配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 14. その他 (理由: )</p>	<p>【事例：自然及び地盤条件への対応工事等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。</li> <li>軟弱地盤のため、施工不可能日 (待ち時間) が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。</li> <li>斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。</li> <li>イヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。</li> <li>試掘したにもかかわらず、歴史的埋蔵文化財の発掘調査が必要となった工事。</li> <li>その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</li> </ul>
	<p>■厳しい周辺環境等、社会条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 地中埋設物等の地中内の作業障害物</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線、建築物等の近接物</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約</p> <p><input type="checkbox"/> 18. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業</p> <p><input type="checkbox"/> 19. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等</p> <p><input type="checkbox"/> 20. その他 (理由: )</p>	<p>【事例：周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要となった工事等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガス管・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。</li> <li>支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事。</li> <li>地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。</li> <li>工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。</li> <li>工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。</li> <li>環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。</li> <li>施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。</li> <li>大気圧を越える気圧下の作業室での工事。</li> <li>酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。 地上・水面から10m以上 (10m以下) での工事。</li> <li>工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事。</li> <li>その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</li> </ul>	
	<p>■施工現場での対応</p> <p><input type="checkbox"/> 21. 災害等での臨機の処置</p> <p><input type="checkbox"/> 22. 施工状況 (条件) の変化に対応した施工・工法等の自発的提案 (VEを含む) と対応等</p> <p><input type="checkbox"/> 23. その他 (理由: )</p>		

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマーク、・に○を記入する。

4 高度 技術	I. 高度技術  キーワード 評価	技術力キーワード一覧表  ■その他 □24. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項（理由： ）	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例  【その他】 ・その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。
	記述評価 【レマークキ ワード項目 について 評価内容を 概略記述】	評点： 点 ※・高度な技術力は、加點評価とする。 ・加點は+10 点～0 点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1 項目 2 点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。	【高度技術のキーワードの概略】 ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... .....

- ※ 1. 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術を評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。
- ※ 2. 概略評価の記述にあたっては、担当課長及びグループ担当との合議とし、具体的な評価技術力項目及び工事事例を参考とし、高度な技術力を記述する。
- ※ 3. 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルであるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

〔記入方法〕該当する項目の□にレマーク、・に○を記入する。

4 高度 技術	I. 高度技術  キーワード 評価	技術力キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
		■施工規模への大きさへの対応 <input type="checkbox"/> 1. 施工規模が大きい。 <input type="checkbox"/> 2. その他（理由：            ）	※契約金額3,000万円以上の工事に適用する。 <b>【施工規模が大規模】</b> 高度技術で評価できる場合 「契約金額 1億5千万円以上の工事の場合」
		■技術固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 3. 技術固有の難度が高い <input type="checkbox"/> 4. その他（理由：            ）	<b>【施工難度】</b> 下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合 ・実績の少ない設備を含む工事 ・特殊なシステムや設備を含む工事 ・歴史埋蔵文化財の保存施設等特殊施設
		■厳しい施工条件への対応 <input type="checkbox"/> 5. 厳しい施工条件がある <input type="checkbox"/> 6. その他（理由：            ）	<b>【施工条件への対応】</b> 下記の該当する項目が、工事の相当部分を占める工事 ・厳しい時間的制約のある工事 ・工事施工にあたり各種の制約があり工程的にも特に厳しく、制限を受けた工事 ・既存施設を使用しながら行う大規模な改修工事 ・施工場所が狭さくな工事 ・他工事との著しい錯そう（他工事の制約を受け、機械、人員等の増強を行った等） ・供用中の路上工事又はこれを含む工事で交通規制が必要な工事 ・自然条件や地形等による影響を著しく受ける工事
		■施工での対応 <input type="checkbox"/> 7. 高度な技術を発揮した <input type="checkbox"/> 8. 災害防止等での臨機の処置 <input type="checkbox"/> 9. その他（理由：            ）	<b>【高度技術の発揮】</b> 施工にあたり下記の高度な技術を発揮した。 ・施工条件の変化に対応した施工上の自発的提案と対応等 ・困難な施工条件下で臨機の対応により事故等を未然に防いだ ・周辺住民等からの苦情や要望に対して配慮した ・現場環境の美化や労働環境改善への取り組みがあった
		■その他 <input type="checkbox"/> 10. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項 <input type="checkbox"/> 11. その他（理由：            ）	<b>【その他】</b> ・その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。
記述評価 <b>【レマークを付したキーワード項目について評価内容を概略記述】</b>	評点： _____ 点  ※・高度な技術力は、加點評価とする。 ・加點は+10点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。	<b>【高度技術のキーワードの概略】</b>  ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----	

- ※1. 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術を評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。
- ※2. 概略評価の記述にあたっては、担当課長及びグループ担当との合議とし、具体的な評価技術力項目及び工事事例を参考とし、高度な技術力を記述する。
- ※3. 高度技術では指定仮設も含む。
- ※4. 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルであるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。
- ※5. 土木に係る電気の評価にも適用する。

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマーク、・に○を記入する。

4 高度 技術	I. 高度技術  キーワード 評価	技術力キーワード一覧表	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例
		■施工規模への大きさへの対応 <input type="checkbox"/> 1. 施工規模が大きい。 <input type="checkbox"/> 2. その他（理由：                    ）	※契約金額3,000万円以上の工事に適用する。 【施工規模が大規模】 高度技術で評価できる場合 「契約金額 1億5千万円以上の工事の場合」
		■技術固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 3. 技術固有の難度が高い <input type="checkbox"/> 4. その他（理由：                    ）	【施工難度】 下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合 ・実績の少ない設備を含む工事 ・特殊なシステムや設備を含む工事 ・歴史埋蔵文化財の保存施設等特殊施設
		■厳しい施工条件への対応 <input type="checkbox"/> 5. 厳しい施工条件がある <input type="checkbox"/> 6. その他（理由：                    ）	【施工条件への対応】 下記の該当する項目が、工事の相当部分を占める工事 ・厳しい時間的制約のある工事 ・工事施工にあたり各種の制約があり工程的にも特に厳しく、制限を受けた工事 ・既存施設を使用しながら行う大規模な改修工事 ・施工場所が狭さくな工事 ・他工事との著しい錯そう（他工事の制約を受け、機械、人員等の増強を行った等） ・供用中の路上工事又はこれを含む工事で交通規制が必要な工事 ・自然条件や地形等による影響を著しく受ける工事
		■施工での対応 <input type="checkbox"/> 7. 高度な技術を発揮した <input type="checkbox"/> 8. 災害防止等での臨機の処置 <input type="checkbox"/> 9. その他（理由：                    ）	【高度技術の発揮】 施工にあたり下記の高度な技術を発揮した。 ・施工条件の変化に対応した施工上の自発的提案と対応等 ・困難な施工条件下で臨機の対応により事故等を未然に防いだ ・周辺住民等からの苦情や要望に対して配慮した ・現場環境の美化や労働環境改善への取り組みがあった
	■その他 <input type="checkbox"/> 10. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項 <input type="checkbox"/> 11. その他（理由：                    ）	【その他】 ・その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。	
記述評価	評点： _____ 点	【高度技術のキーワードの概略】	
【レマークを付したキーワード項目について評価内容を概略記述】	※・高度な技術力は、加點評価とする。 ・加點は+10点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。	..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... .....	

- ※ 1. 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術の評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。
- ※ 2. 概略評価の記述にあたっては、担当課長及びグループ担当との合議とし、具体的な評価技術力項目及び工事事例を参考とし、高度な技術力を記述する。
- ※ 3. 高度技術では指定仮設も含む。
- ※ 4. 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルであるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。
- ※ 5. 土木に係る機械の評価にも適用する。

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

4 高度 技術	I. 高度技術 キーワード 評価	技術力キーワード一覧表
		<p>■施工規模 ※施工規模：請負金額130万円超3,000万円未満の工事に適用する。</p> <p>■構造物の難易度、現場、周辺、自然等を勘案した積極的な対応</p> <p><input type="checkbox"/>1. 対象構造物の形状の複雑さ</p> <p><input type="checkbox"/>2. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事</p> <p><input type="checkbox"/>3. 地中埋設物等の作業障害物（支障物件の移設が工程上特に影響を及ぼした等。）</p> <p><input type="checkbox"/>4. 供用中の道路、架空線、建築物等の近接（作業スペース、高さ制限等の影響を含む。）</p> <p><input type="checkbox"/>5. 資機材搬入等の工所用道路の制約</p> <p><input type="checkbox"/>6. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業</p> <p><input type="checkbox"/>7. 湧水の発生、地下水の影響</p> <p><input type="checkbox"/>8. 軟弱地盤、支持地盤の状況</p> <p><input type="checkbox"/>9. 雨、雪、風、気温等の影響</p> <p><input type="checkbox"/>10. 工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事</p> <p><input type="checkbox"/>11. 騒音、振動、水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等の適切さ</p> <p><input type="checkbox"/>12. 施工及び工法、機械選定等独自に優れた技術力及び能力が評価できる</p> <p><input type="checkbox"/>13. その他特質すべき技術力がある (理由： )</p>
		※ 評 点： 点
	評点目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に評価すべき高度技術事例を加点評価する。</li> <li>・加点は+10点～0点の範囲とする。</li> <li>・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。</li> </ul>

5 創意工夫	I. 創意工夫 キーワード 評価	技術力キーワード一覧表	
		<p>■準備・後片付け関係</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 測量・位置出しにおける工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 2. その他 (理由: )</p> <p>■施工関係</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 施工に伴う器具、工具、装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 4. コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 設備工事で、加工、組立等の工夫又は、電気工事の配線、配管等での工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 照明・視界確保等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 運搬車両・施工機械等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 支保工、型枠工、足場工及び仮栈橋、覆工板、山留め等の仮設工関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 施工管理及び品質向上等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 14. その他 (理由: )</p> <p>■品質関係</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 集計ソフト等の活用と工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 土工関係、設備関係、電気関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 17. コンクリートの打設関係の工夫 (材料、打設、養生、出来形・品質等)</p> <p><input type="checkbox"/> 18. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 19. 配筋・溶接作業等に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 20. その他 (理由: )</p> <p>■安全衛生関係</p> <p><input type="checkbox"/> 21. 安全仮設備等の工夫 (落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)</p> <p><input type="checkbox"/> 22. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 23. 現場事務所、労働者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 24. 有毒ガス・可燃ガスの処理。及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 25. 供用中の道路等の事故防止、一般車両突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等のための工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 26. 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 27. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等地球環境への工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 28. その他 (理由: )</p> <p>■施工管理関係</p> <p><input type="checkbox"/> 29. 盛土の締固、場所打ち杭や既成杭の施工高さ等の施工に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 30. 施工計画書及び写真管理等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 31. 出来形、品質との計測関係等の工夫。及び集計、管理図等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 32. CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 33. その他 (理由: )</p> <p>■その他</p> <p><input type="checkbox"/> 34. その他 (理由: )</p> <p><input type="checkbox"/> 35. その他 (理由: )</p> <p><input type="checkbox"/> 36. その他 (理由: )</p>	
	記述評価 【レマークを付したキーワード項目について評価内容を概略記述】	<p>評点: 点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。</li> <li>・加点は+5点~0点の範囲とする。</li> <li>・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。</li> </ul> <p>1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。</p>	<p>【創意工夫のキーワードの概略】</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

- ※ 1. 創意工夫においては「4. 高度技術」の審査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点、抽出記載する。
- ※ 2. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来栄え」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本審査項目でも再評価する。
- ※ 3. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に、ささいな工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。
- ※ 4. キーワードの評価 (選定) 及び詳細評価は、担当課長及びグループ担当との合議をもって記述する。
- ※ 5. 「4. 高度技術」との二重評価はしない。
- ※ 6. 評定は請負業者より報告、もしくは提案のあったものを検討する。

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

5 創意工夫	技術力キーワード一覧表	
	I. 創意工夫 キーワード 評価	■準備・後片付け関係 <input type="checkbox"/> 1. 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 2. 現地調査方法の工夫 <input type="checkbox"/> 3. その他（理由： _____） ■施工関係 <input type="checkbox"/> 4. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫 <input type="checkbox"/> 5. 工事加工製品等を活用し副産物及び廃棄物の減少に工夫及びリサイクルに対する積極的な取り組み <input type="checkbox"/> 6. 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 7. 部材・機械等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫 <input type="checkbox"/> 8. 電気工事等の配線、配管等での工夫 <input type="checkbox"/> 9. 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 <input type="checkbox"/> 10. 照明・視界確保等の工夫 <input type="checkbox"/> 11. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 <input type="checkbox"/> 12. 運搬車両・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 13. 支保工、型枠工、足場工及び仮橋、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 14. 施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> 15. プレハブ工法等を採用し、工期短縮等の工夫 <input type="checkbox"/> 16. 改修工事における仮設施工の工夫 <input type="checkbox"/> 17. その他（理由： _____） ■品質関係 <input type="checkbox"/> 18. 集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 19. 躯体工事の品質管理の工夫 <input type="checkbox"/> 20. 材料の検査試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 21. 施工の検査試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 22. 品質記録方法の工夫 <input type="checkbox"/> 23. その他（理由： _____） ■安全衛生関係 <input type="checkbox"/> 24. 安全仮設備の工夫（落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） <input type="checkbox"/> 25. 安全教育、技術向上講習会等、教育・ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 26. 現場事務所、労働者休憩所等の住居空間及び設備等の工夫 <input type="checkbox"/> 27. 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 28. 供用中の道路等の事故防止及び一般交通確保のための工夫 <input type="checkbox"/> 29. 苦渋作業等の作業環境低減等の工夫 <input type="checkbox"/> 30. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> 31. その他（理由： _____） ■施工管理関係 <input type="checkbox"/> 32. 出来形管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 33. 施工計画書及び写真記録等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 34. 出来形、品質との計測関係等の工夫及び集計、管理図の工夫 <input type="checkbox"/> 35. CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用 <input type="checkbox"/> 36. その他（理由： _____） ■その他 <input type="checkbox"/> 37. その他（理由： _____） <input type="checkbox"/> 38. その他（理由： _____）
記述評価 【レマークを付したキーワード項目について評価内容を概略記述】	評点： _____点 ・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+5点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。	【創意工夫のキーワードの概略】 _____ _____ _____ _____ _____

- ※ 1. 創意工夫においては「4. 高度技術」の考査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点、抽出記載する。
- ※ 2. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来栄」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本考査項目でも再評価する。
- ※ 3. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に、ささいな工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。
- ※ 4. キーワードの評価（選定）及び詳細評価は、担当課長及びグループ担当との合議をもって記述する。
- ※ 5. 「4. 高度技術」との二重評価はしない。
- ※ 6. 評定は請負業者より報告、もしくは提案のあったものを検討する。



〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

5 創意工夫	I. 創意工夫	技術力キーワード一覧表	
	キーワード 評価	<b>■準備・後片付け関係</b> <input type="checkbox"/> 1. 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 2. その他（理由： _____）	
		<b>■設計・施工関係</b> <input type="checkbox"/> 3. 機械・器具類の選定に関する工夫 <input type="checkbox"/> 4. 器具類の設計に関する工夫 <input type="checkbox"/> 5. システムの設計に関する工夫 <input type="checkbox"/> 6. 機器・器具類の配置・収まりに関する工夫 <input type="checkbox"/> 7. 配管・ダクト等の配置・収まりに関する工夫 <input type="checkbox"/> 8. 施工に伴う器具・工具・装置・運搬・搬入・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 9. 電気工事の配線・配管等の工夫 <input type="checkbox"/> 10. 土工・仮設等の計画及び施工の工夫 <input type="checkbox"/> 11. 設備の安全性の向上に関する工夫 <input type="checkbox"/> 12. その他（理由： _____）	
		<b>■施工管理関係</b> <input type="checkbox"/> 13. 現場調査等の工夫 <input type="checkbox"/> 14. 施工計画書・写真管理等の工夫 <input type="checkbox"/> 15. 中間段階における検査・施工状態の確認における工夫 <input type="checkbox"/> 16. 各種検査に対する工夫 <input type="checkbox"/> 17. 竣工図書類の工夫（計測データ・集計・取り扱い説明書管理図書の工夫など） <input type="checkbox"/> 18. CAD・施工管理ソフト等の活用 <input type="checkbox"/> 19. その他（理由： _____）	
		<b>■品質管理・性能確認関係</b> <input type="checkbox"/> 20. 機器類・材料等に対する品質確保のための工夫 <input type="checkbox"/> 21. 試運転調整及び試運転にあたっての工夫 <input type="checkbox"/> 22. システムとしての性能確保するための工夫 <input type="checkbox"/> 23. その他（理由： _____）	
		<b>■安全衛生関係</b> <input type="checkbox"/> 24. 安全仮設備の工夫（落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） <input type="checkbox"/> 25. 安全教育、技術向上講習会等、教育・ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 26. 現場事務所、労働者休憩所等の住居空間及び設備等の工夫 <input type="checkbox"/> 27. 有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 28. 使用者、一般市民への事故防止及び生活確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 29. 苦渋作業等の作業環境低減等の工夫 <input type="checkbox"/> 30. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> 31. その他（理由： _____）	
<b>■その他</b> <input type="checkbox"/> 32. その他（理由： _____）			
記述評価	【レマークを付したキーワード項目について評価内容を概略記述】	評点： _____ 点 ・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+5点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。	【創意工夫のキーワードの概略】 ----- ----- ----- ----- -----

- ※ 1. 創意工夫においては「4. 高度技術」の審査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点、抽出記載する。
- ※ 2. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来栄」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本審査項目でも再評価する。
- ※ 3. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に、ささいな工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。
- ※ 4. キーワードの評価（選定）及び詳細評価は、担当課長及びグループ担当との合議をもって記述する。
- ※ 5. 「4. 高度技術」との二重評価はしない。
- ※ 6. 評定は請負業者より報告、もしくは提案のあったものを検討する。

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

5 創意工夫	I. 創意工夫	技術力キーワード一覧表	
	キーワード 評価	■準備・後片付け関係 <input type="checkbox"/> 1. 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 2. その他（理由： _____）	
		■設計・施工関係 <input type="checkbox"/> 3. 機械・器具類の選定に関する工夫 <input type="checkbox"/> 4. 器具類の設計に関する工夫 <input type="checkbox"/> 5. システムの設計に関する工夫 <input type="checkbox"/> 6. 機器・器具類の配置・収まりに関する工夫 <input type="checkbox"/> 7. 配管・ダクト等の配置・収まりに関する工夫 <input type="checkbox"/> 8. 施工に伴う器具・工具・装置・運搬・搬入・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 9. 電気工事の配線・配管等の工夫 <input type="checkbox"/> 10. 土工・仮設等の計画及び施工の工夫 <input type="checkbox"/> 11. 設備の安全性の向上に関する工夫 <input type="checkbox"/> 12. その他（理由： _____）	
		■施工管理関係 <input type="checkbox"/> 13. 現場調査等の工夫 <input type="checkbox"/> 14. 施工計画書・写真管理等の工夫 <input type="checkbox"/> 15. 中間段階における検査・施工状態の確認における工夫 <input type="checkbox"/> 16. 各種検査に対する工夫 <input type="checkbox"/> 17. 竣工図書類の工夫（計測データ・集計・取り扱い説明書管理図書の工夫など） <input type="checkbox"/> 18. CAD・施工管理ソフト等の活用 <input type="checkbox"/> 19. その他（理由： _____）	
		■品質管理・性能確認関係 <input type="checkbox"/> 20. 機器類・材料等に対する品質確保のための工夫 <input type="checkbox"/> 21. 試運転調整及び試運転にあたっての工夫 <input type="checkbox"/> 22. システムとしての性能確保するための工夫 <input type="checkbox"/> 23. その他（理由： _____）	
		■安全衛生関係 <input type="checkbox"/> 24. 安全仮設備の工夫（落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） <input type="checkbox"/> 25. 安全教育、技術向上講習会等、教育・ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 26. 現場事務所、労働者休憩所等の住居空間及び設備等の工夫 <input type="checkbox"/> 27. 有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 28. 使用者、一般市民への事故防止及び生活確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 29. 苦渋作業等の作業環境低減等の工夫 <input type="checkbox"/> 30. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> 31. その他（理由： _____）	
■その他 <input type="checkbox"/> 32. その他（理由： _____）			
記述評価	【レマークを付したキーワード項目について評価内容を概略記述】	評点： _____ 点	【創意工夫のキーワードの概略】
		・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+5点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。	_____ _____ _____ _____ _____

- ※ 1. 創意工夫においては「4. 高度技術」の審査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点、抽出記載する。
- ※ 2. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来栄」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本審査項目でも再評価する。
- ※ 3. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に、ささいな工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。
- ※ 4. キーワードの評価（選定）及び詳細評価は、担当課長及びグループ担当との合議をもって記述する。
- ※ 5. 「4. 高度技術」との二重評価はしない。
- ※ 6. 評定は請負業者より報告、もしくは提案のあったものを検討する。

6 環 境 対 策	環境対策	環境保全キーワード一覧表	
		<p>■現場環境関係</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 現場内のゴミの分別や減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への配慮を行っている。</p> <p>■周辺環境関係</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 周辺水環境に対する水質汚濁の配慮をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 周辺住民等に対する粉塵・悪臭の配慮をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 野生鳥獣物等の生息環境に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 周辺の眺望への自然景観に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 周辺河川・湖沼の汚染に配慮している。</p> <p>■その他</p> <p><input type="checkbox"/> 9. その他 (理由: _____ )</p> <p><input type="checkbox"/> 10. その他 (理由: _____ )</p> <p><input type="checkbox"/> 11. その他 (理由: _____ )</p>	
	<p>記述評価</p> <p>【レマークを付したキーワード項目について評価内容を概略記述】</p>	<p>評点: _____ 点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加點評価する。</li> <li>・加點は+5点~0点の範囲とする。</li> <li>・該當キーワード数の数と重みを勘案して評点する。</li> </ul> <p>1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。</p>	<p>【環境対策のキーワードの概略】</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>

※1. キーワードの評価 (選定) 及び詳細評価は、担当課長及びグループ担当との合議をもって記述する。

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

全工事（第2評定者）

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
		工程管理が非常に優れている。	工程管理がやや優れている。	他の事項に該当しない場合。	工程管理がやや不備である。	工程管理が不備である。
2 施 工 状 況	II. 工程管理	<input type="checkbox"/> 1. 災害復旧工事及び施工条件の変更等による工期的な制約がある中で余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 2. 隣接する他の工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> 3. 地元調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 4. 代休等を確保するなど、適切な人員管理と工程管理が地域住民に好印象を与えている。 <input type="checkbox"/> 5. 配置技術者（現場代理人等）の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 <input type="checkbox"/> 6. その他（理由： _____）			<input type="checkbox"/> 1. 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった（但し、改善指示による場合を除く） 上記該当あれば……e  <input type="checkbox"/> 2. 自主的な工程管理がなされず、監督員から文書により改善指示を行った。  上記該当あれば……d	
	※上記該当項目を総合的に判断して、a、b、C、d、e評価を行う。 参考 該当項目が80%程度以上…………… a 該当項目が60%～80%程度……… b 該当項目が59%程度以下…………… c					
	III. 安全対策	a	b	c	d	e
	<input type="checkbox"/> 1. 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> 2. 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 3. 安全衛生管理活動が活発で他の模範となっている。 <input type="checkbox"/> 4. 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 5. 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> 6. 安全職場実現への取り組みが地域全体から評価されている。 <input type="checkbox"/> 7. その他（理由： _____）			<input type="checkbox"/> 1. 安全対策の不備により重大な災害等を受けた。  上記該当あれば………e  <input type="checkbox"/> 2. 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であった。  上記該当あれば………d		
※上記該当項目を総合的に判断して、a、b、C、d、e評価を行う。 参考 該当項目が83%程度以上…………… a 該当項目が66%～83%程度……… b 該当項目が65%程度以下…………… c						

## 工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

全工事（第2評定者）

審査項目	細別	a	b	c
		地域への貢献が非常に優れている	地域への貢献がやや優れている	他の項目に該当しない場合
7 社会性等	I. 地域への貢献等  ※当該工事の施工にもなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点评価する。	<input type="checkbox"/> 1. 河川、湖沼等の環境保全を具体的に実施した。 <input type="checkbox"/> 2. 国立公園や県立公園等及び周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護等に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 3. 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 4. 定期的に広報紙や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 5. 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 6. 災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。 <input type="checkbox"/> 7. 冬期間における除雪活動に積極的に協力した。 <input type="checkbox"/> 8. その他（理由： _____）		
		※上記該当項目を総合的に判断して、a、b、C 評価を行う。		

### 工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

全工事（第3評定者）

審査項目	細別	a	b	c	d	e
		施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
2 施工状況	I. 施工管理  ※( )内は下請 総額 3000 万円 (建築一式 4500 万円)未満の場 合とし、処分事 項とはならない。	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 契約約款18条第一項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行い、施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 2. 施工計画書と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 3. 工事材料の資料の整理及び確認がなされ、管理されている。 <input type="checkbox"/> 4. 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 5. 見本または工事記録写真等の整理に工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 6. 立会確認の手続きが事前になされている。 <input type="checkbox"/> 7. 工事記録の整備が適時、的確になされている。 <input type="checkbox"/> 8. リサイクルへの取り組みが適切になされている。 <input type="checkbox"/> 9. 建退共の証紙が適切に配布され管理されている。 <input type="checkbox"/> 10. 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。 <input type="checkbox"/> 12. 施工体制台帳（下請通知書）、施工体系図（元請・下請関係者一覧表）が整備されている。 <input type="checkbox"/> 13. 施工計画書と現場の施工体制が一致している。 <input type="checkbox"/> 14. 品質証明体制が確立され、有効に機能している。 <input type="checkbox"/> 15. 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。 <input type="checkbox"/> 16. 工事の関係書類及び資料整理が良い。 <input type="checkbox"/> 17. 社内の管理基準等が作成され管理している。 <input type="checkbox"/> 18. その他（理由： ）			<input type="checkbox"/> 1. 設計図書と適合しない箇所があり、文書により修補指示を行った。  <input type="checkbox"/> 2. 契約図書に基づく施工上の義務につき、検査員から文書により指示を行った。  上記1項目該当があれば ……d 2項目以上該当すれば ……e	
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。                      ③ 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div>				
		・該当項目が90%程度以上…………… a ・該当項目が80～90%程度…………… b ・該当項目が60%～80%程度…………… c ・該当項目が60%程度以下…………… d				

工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法]OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事 (第3評定者)

審査項目	細 別	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。 ※ばらつきの判定は別紙-4参照	<input type="checkbox"/> 1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
3 出来形及び出来栄	I. 出来形	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 出来形管理図及び出来形管理表に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 2. 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に判断出来る。 <input type="checkbox"/> 3. 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 4. 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 5. その他 (理由: )			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  ※上記項目に該当があれば……d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  ※上記該当があれば……e
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           ① 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。            ② 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。         </div>				
	I. 出来形	a	b	c	d	e
	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である	
	上記欄により評価できない場合は、当該欄で評価する。	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に判断できる。 <input type="checkbox"/> 3. 管理基準により、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 4. 写真管理基準により、創意工夫を持って適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 5. 出来形の形状、寸法が設計値 (設計図書) を満足し、ばらつきが少ない。 <input type="checkbox"/> 6. 出来形の性能、機能が設計値 (設計図書) を満足し、ばらつきが少ない。 <input type="checkbox"/> 7. その他 (理由: )			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば…… d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば…… e
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           ① 当該「評価対象項目」の内、評価対象外の項目は削除する。            ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。            ③ 評価値 ( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目            ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする         </div>					
	該当項目が90%程度以上……………a 該当項目が80%～90%程度……………b 該当項目が60%～80%程度……………c 該当項目が60%程度以下……………d					

工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

審査項目	工種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質  コンクリート構造物工事	<b>【評価対象項目】</b> <input type="checkbox"/> 1. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・W/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート打設時の必要な供試体を採用し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 5. 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 6. 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 11. スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば ………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づく破壊検査を行った。  上記該当があれば ………e
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。                      ③ 評価値（%）=（ ）                      評価数 / （ ）対象評価項目数                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする                 </div>						
・試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評定する。 ・ばらつきが少なく、該当項目が80%程度以上………a ・ばらつきが少なく、該当項目が60%～80%程度………b ・ばらつきが少なく、該当項目が60%程度以下………c <input type="checkbox"/> 13. クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。※別紙-4を参照 上記該当あれば・・・c						



工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

考査項目	工種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質  土工事 (切土、盛土、築堤等工事)	<b>【評価対象項目】</b> <input type="checkbox"/> 1. 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 2. 段切り等が施工前に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 3. 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している <input type="checkbox"/> 4. 締固めを適切な条件で施工している。 <input type="checkbox"/> 5. 筋芝または種子吹付等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 6. 構造物周辺の締め固め等の処理が適正に行っている <input type="checkbox"/> 7. 土羽土の土質が適正である。 <input type="checkbox"/> 8. CBR試験等を行っている。 <input type="checkbox"/> 9. 法面に有害なクラックや損傷部がない。 ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づく破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
		※ばらつきが少なく、該当項目が80%程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が60%～80%程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が60%程度以下……………c			前述に同じ	
	II. 品質  護岸・根固・水制工事	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	
		<b>【評価対象項目】</b> <input type="checkbox"/> 1. 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 2. 裏込材、胴込めコンクリートの充てんまたは締固めが充分で、空隙が生じていない。 <input type="checkbox"/> 3. 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等で、材料のかみ合わせまたは連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがない。 <input type="checkbox"/> 4. 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。 <input type="checkbox"/> 5. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切である。 <input type="checkbox"/> 6. 植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。 <input type="checkbox"/> 7. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結またはかみ合わせが適切である			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づく破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ・該当項目が80%程度以上…………… a ・該当項目が60%～80%程度…………… b ・該当項目が60%程度以下…………… c			<input type="checkbox"/> 8. コンクリートブロック張等にクラックがある場合、進行性または有害なクラックはなく、発生したクラックには適切な処置を行っている。 ※別紙-4を参照 上記該当があれば…………… c	

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

考査項目	工 種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質  鋼 橋 工 事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	<b>【評価対象項目】</b> [工場製作関係] <input type="checkbox"/> 1. 鋼材の員数照合がミルシート等（現場照合を含む）で確認されている。 <input type="checkbox"/> 2. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 3. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。（重ね塗りの場合も含む） <input type="checkbox"/> 4. 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。  [架設関係] <input type="checkbox"/> 6. ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> 7. ボルトの締め付け機、測定機器のキヤリブレーションを実施している。 <input type="checkbox"/> 8. 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切り勾配がついている。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づく破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が6項目程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が5項目程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が4項目程度以下……………C						

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

考査項目	工種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質  砂防構造物工事及び地すべり防止工事（集水井戸工事を含む）	評価対象項目] [共通] <input type="checkbox"/> 1. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・W/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート打設時の必要な供試体を採用し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 5. 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 6. 地山との取り合わせが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 7. 鉄筋または鋼材の規格がミルシートで確認できる。 [砂防構造物工事に適用] <input type="checkbox"/> 8. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 11. アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> 13. ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 [地すべり対策工事（抑止杭・集水井戸工事を含む）] <input type="checkbox"/> 14. アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. ライナプレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮し、施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 16. ライナイレートと地山との隙間が少なくなるように施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 17. 集・排水ボーリング工の方向、角度が適正となるように施工上の配慮がなされている。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づく破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
		※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が80%程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が60%～80%程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が60%程度以下……………c [共通] <input type="checkbox"/> 18. クラックがある場合、進行性又は有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※別紙-4を参照 上記該当あれば……………c			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

考査項目	工種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質 舗装工事	[評価対象項目] <b>【路床・路盤工関係】</b> <input type="checkbox"/> 1. 施工に先立ち、CBR値を測定し、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っている。 <input type="checkbox"/> 2. 路床・路盤工のプルフローリングを行っている。  <b>【アスファルト舗装工関係】</b> <input type="checkbox"/> 3. 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 （アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く） <input type="checkbox"/> 4. 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> 5. 舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通開放を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 6. 舗装の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらしている。 <input type="checkbox"/> 7. 目地の処理が仕様書に定められた通りであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業（締め固め等）の配慮が行われている。  <b>【コンクリート舗装工関係】</b> <input type="checkbox"/> 9. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・W/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っている <input type="checkbox"/> 13. チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約書第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が6項目程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が5項目程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が4項目程度以下……………C						

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

考査項目	工種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質 法面工事	[評価対象項目] <b>【共通】</b> <input type="checkbox"/> 1. 施工基面が平滑に仕上げられている。  <b>【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】</b> <input type="checkbox"/> 2. 土壌試験を実施し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 3. ネット等の重ね幅が10c皿以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 4. 吹付け厚さが均等である。 <input type="checkbox"/> 5. 吹付け厚さによって、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。  <b>【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</b> <input type="checkbox"/> 6. 金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 7. 吹付け厚さが均等である。 <input type="checkbox"/> 8. 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 跳ね返り材料が適切に処理されている。  <b>【現場打法枠工関係】</b> <input type="checkbox"/> 10. アンカーの施工長さが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 現場養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 12. 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 跳ね返り材料が適切に処理されている。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約書第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が4項目程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が3項目程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が2項目程度以下……………C						

工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

審査項目	工種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質 基礎工事 (地盤改良等を含む)	[評価対象項目] <b>【既成杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒等）】</b> <input type="checkbox"/> 1. 杭に損傷及び補修痕がない。 <input type="checkbox"/> 2. 杭の打止め管理方法または場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 水平度、安全度、鉛直度等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 場所打杭についてトレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重等が適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> 7. ライナープレートの組立にあたって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮されている。 <input type="checkbox"/> 8. 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約書第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。                      ③ 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする                 </div>						
※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が80%程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が60%～80%程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が60%程度以下……………c						

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

考査項目	工種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質 コンクリート橋工事 (PC(購入桁を含む)及びRCを対象)	<b>【評価対象項目】</b> <input type="checkbox"/> 1. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート打設時の必要な供試体を採用し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイプレータの機種、養生方法等、適切に行っている(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 5. 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 6. 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 鉄筋の引張強度または曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 10. スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> 12. プレベーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 13. 装置(機器)のキヤリブレーションが実施されている。 <input type="checkbox"/> 14. 緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 15. プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる <input type="checkbox"/> 16. 構造物と同様な養生条件に供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約書第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする                 </div>						
※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が80%程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が60%~80%程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が60%程度以下……………c <input type="checkbox"/> 17. クラックがある場合、有害又は進行性のクラックが無く、発生したクラックに対しては有職者等の意見に基づく処置を行っている。 上記該当あれば……………c						

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。		
3 出来形及び出来栄	II. 品質 塗装工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> 2. ケレンが入念に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> 4. 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 塗膜に有害な付着物がない。 <input type="checkbox"/> 6. 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づく破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e	
		※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が5項目以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が4項目……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が3項目以下……………c					
	II. 品質 トンネル工事	a	b	c	d	e	
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。		
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・W/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ等行っている。 <input type="checkbox"/> 5. 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 鉄鋼の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. コンクリート打設までの鉄筋等の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 金網の継ぎ目を15cm（一目）以上重ね合わせていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 吹付コンクリートは浮石等を除いた後に、15cm以下の厚さで地山と密着するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 11. 吹付コンクリートの打継ぎ部の施工で清掃及び湿潤状態が確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. ロックボルト挿入前にくり粉除去の清掃がなされている。 <input type="checkbox"/> 13. 逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上にないことが確認できる。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づく破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e	
		※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する ※ばらつきが少なく、該当項目が80%程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が60～80%程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が60%程度以下……………c					



工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

考査項目	工種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質 植栽工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1. 土壌硬度試験及び土壌試験（PH）を実施し施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 2. 活着管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 3. 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 4. 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 <input type="checkbox"/> 5. 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 <input type="checkbox"/> 6. 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されている。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば ……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づく破壊検査を行った。  上記該当があれば ……………e
		※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する ※ばらつきが少なく、該当項目が5項目程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が4項目程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が3項目程度以下……………c				
	II. 品質 防護柵（網） ・標識・ 区画線等配置工事	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1. 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 2. ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が10%程度以下である。 <input type="checkbox"/> 3. 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば ……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づく破壊検査を行った。  上記該当があれば ……………e
※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が3項目程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が2項目程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が1項目程度以下……………c						

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

考査項目	工種	a	b	c	d	e		
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。			
3 出来形及び出来栄	II. 品質 造園工事	<b>【評価対象項目】</b> <input type="checkbox"/> 1. 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 2. 材料の品質及び形状が設計図書等との適合性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 3. 部品の品質及び形状が設計図書等との適合性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 4. 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書等との適合性が確認でき、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 5. 植物、公園資材等による修景効果向上についての配慮が事前に十分検討され、良好な施工がうかがえる。					<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約書第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
		※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が4項目程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が3項目程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が2項目程度以下……………c						
	II. 品質 コンクリート2次製品工事 (L型、BOX、U字溝、縁石、ブロック、BF等)	a	b	c	d	e		
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。			
		<b>【評価対象項目】</b> <input type="checkbox"/> 1. 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 2. 基礎砕石が所定の厚さ、寸法で施工され、締固状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 根入れが図面通り実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 仕様書等で示す条件により埋戻し、盛土がなされ、十分転圧されている。 <input type="checkbox"/> 5. 継目処理が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 6. 製品に破損がなく適切に施工されている。					<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約書第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が5項目程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が4項目程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が3項目程度以下……………c								

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

考査項目	工種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質  下水道工事	<b>【評価対象項目】</b> <input type="checkbox"/> 1. 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 2. 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 3. 管渠（管布設・矩形渠布設、推進、シールド）工において出来高管理基準を満足しており、目立った屈曲や沈下がない。 <input type="checkbox"/> 4. 管渠に影響を与えるクラックや変形がない。 <input type="checkbox"/> 5. 管渠において漏水箇所がない。 <input type="checkbox"/> 6. 管渠止において止水滑材や接着剤等のはみ出し等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 管渠継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 推進管の裏込め材料が十分充填されている。 <input type="checkbox"/> 9. マンホールにおいて、出来高管理基準を満足し、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されている。 <input type="checkbox"/> 10. マンホールにおいて、各部材にはクラック等がなく、漏水がない。 <input type="checkbox"/> 11. マンホールの足掛金物の位置、方向が適正であり、鉄蓋設置においては、ガタツキがなく、仕上がり天端高も適正である。 <input type="checkbox"/> 12. インバートは形状、勾配、表面仕上げ等が適正で、漏水がない。 <input type="checkbox"/> 13. 柵の天端は周辺地盤になじんでおり、土地境界石、その他周辺の復旧仕上がりが良い <input type="checkbox"/> 14. 柵の取り付け管は、理由のない屈曲や、目立った沈下がない。 <input type="checkbox"/> 15. 施設内に土砂、モルタル、材料の断片等がなく、清掃されている。 <input type="checkbox"/> 16. 掘削時の土留め方法や、推進時の掘進方法による、周辺地盤への影響が見られない。 <input type="checkbox"/> 17. 埋戻において、締め固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。 <input type="checkbox"/> 18. 舗装復旧において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がなく、また舗装切断跡が残っていない等、仕上がり状態が良い。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約書第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当あれば……………e
※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が90%程度以上…………… a ※ばらつきが少なく、該当項目が70～90%程度…………… b ※ばらつきが少なく、該当項目が70%程度以下…………… c <input type="checkbox"/> 19. クラックがある場合、有害又は進行性のクラックが無く、発生したクラックに対しては有職者等の意見に基づく処置を行っている。 上記該当あれば…………… c						

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。  
 ③ 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する  
土木工事（第3評定者）

考査項目	工種	a	b	c	d	e
		□品質管理が適切である。	□品質管理がほぼ適切である。	□他の項目に該当しない。	□品質管理がやや不備である。	□品質管理が不備である。
3 出来形及び出来栄	II. 品質  上記欄により評価できない場合は、当該欄で評価する。	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1. 品質管理方法が明確で、品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 2. 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 3. 施工図・施工計画が適切に作成され、関連工事と調整がなされている。 <input type="checkbox"/> 4. 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 5. 品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 6. 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 7. 各種試験又は試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 8. その他（理由： ）			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば ……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約書第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば ……………e
<div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。                      ③ 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする                 </div>						
※該当項目が90%程度以上…………… a ※該当項目が80～90%程度…………… b ※該当項目が60～80%程度…………… c ※該当項目が60%程度以下…………… d						

工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

審査項目	工種	a	b	c	d	e	
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。		
3 出来形及び出来栄	II. 品質 維持修繕工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば ………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づく破壊検査を行った。  上記該当があれば ………e	
	※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する ※ばらつきが少なく、該当項目が4項目程度以上……a ※ばらつきが少なく、該当項目が3項目程度……b ※ばらつきが少なく、該当項目が2項目程度以下……c						
	II. 品質 電気通信工事	a	b	c	d	e	
		<input type="checkbox"/> 品質管理が適切である。	<input type="checkbox"/> 品質管理がほぼ適切である。	<input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや不備である。	<input type="checkbox"/> 品質管理が不備である。	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1. 品質管理方法が明確で、品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 2. 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 3. 施工図・施工計画が適切に作成され、関連工事と調整がなされている。 <input type="checkbox"/> 4. 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 5. 品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 6. 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 7. 各種試験又は試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 8. その他（理由： _____）			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば ………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条2項もしくは3項に基づく破壊検査を行った。  上記該当があれば ………e	
		該当項目が90%程度以上……a 該当項目が80%～90%程度……b 該当項目が60%～80%程度……c 該当項目が60%程度以下……d					

前述に同じ

工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法]OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

審査項目	工種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質 水道施設工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1. 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 2. 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 3. 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 4. 配管（管布設・推進）工において、出来高管理基準を満足している。 <input type="checkbox"/> 5. 水圧試験において問題なく、試験記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 6. 弁筐及びボックスの据付状態が適正であり、蓋等にガタツキがなく、路面とのすりつけが良好である。 <input type="checkbox"/> 7. 配管の接続が適正な方法により行われており、トルク又はチェックシート等の管理がなされている。 <input type="checkbox"/> 8. 給水管の分岐、接続が基準どおり施工されている。 <input type="checkbox"/> 9. 防食及び絶縁処理が基準どおり適切に行なわれている。 <input type="checkbox"/> 10. ポリエチレンスリーブの被覆が基準どおり施工されている。 <input type="checkbox"/> 11. 推進工法等における補助工法（地盤改良、グラウト注入等）の管理が適切であり、書類等が整理されている。 <input type="checkbox"/> 12. 掘削時の土留め及び管推等による周辺地盤や建造物への影響が見られない。 <input type="checkbox"/> 13. 埋め戻しにおいて、締め固めが適切な方法で施工されており、工事完了後の沈下が見られない。 <input type="checkbox"/> 14. 舗装復旧において、施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がなく、平坦性に優れている、全体的に仕上がりが状態が良い。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	<input type="checkbox"/> 1. 契約書第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当あれば……………e
※試験結果の打点数が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、評価対象項目だけで評価する。 ※ばらつきが少なく、該当項目が90%程度以上……………a ※ばらつきが少なく、該当項目が70%～90%程度……………b ※ばらつきが少なく、該当項目が70%程度以下……………c						
<input type="checkbox"/> 15. クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックにたいしては有識者等の意見に基づく処理を行っている。 上記該当あれば……………c						

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。  
 ③ 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

建築・電気設備・機械設備工事（第3評定者）

考査項目	工種	a	b	c	d	e
		□出来形管理が適切である。	□出来形管理がほぼ適切である。	□他の項目に該当しない。	□出来形管理がやや不備である。	□出来形管理が不備である。
3 出来形及び出来栄	I. 出来形 建築工事・電気設備工事・機械設備工事	[評価対象項目] □1. 出来形管理図又は出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。 □2. 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真での確に確認できる。 □3. 管理基準により、適切に管理している。 □4. 写真管理基準により、創意工夫を持って適切に管理している。 □5. 出来形の形状、寸法が設計値（設計図書）を満足し、ばらつきが少ない。 □6. 出来形の性能、機能が設計値（設計図書）を満足し、ばらつきが少ない。 □7. その他（ ）			□監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	□契約約款第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
		該当項目が90%程度以上……………a 該当項目が80%～90%程度……………b 該当項目が60%～80%程度……………c 該当項目が60%程度以下……………d				
I. 品質	建築工事・電気設備工事・機械設備工事	a	b	C	d	e
		□品質管理が適切である。	□品質管理がほぼ適切である。	□他の項目に該当しない。	□品質管理がやや不備である。	□品質管理が不備である。
		[評価対象項目] □1. 品質管理方法が明確で、品質確保に創意工夫がある。 □2. 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 □3. 施工図・施工計画が適切に作成され、関連工事と調整がなされている。 □4. 材料の品質証明が適切である。 □5. 品質計画による品質管理記録が整備されている。 □6. 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 □7. 各種試験又は試運転等の記録が整備されている。 □8. その他（理由： ）			□監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば……………d	□契約約款第17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば……………e
該当項目が90%程度以上……………a 該当項目が80%～90%程度……………b 該当項目が60%～80%程度……………c 該当項目が60%程度以下……………d					枠内前に同じ	

### 工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

全工事（第3評定者）

審査項目	工種	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
3 出来形及び出来栄	II. 品質  上記以外の工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：				
※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する ※ばらつきが少なく、該当項目が4項目程度以上……a ※ばらつきが少なく、該当項目が3項目程度……b ※ばらつきが少なく、該当項目が2項目程度以下……c ※該当工種からの審査事項で審査し最大審査項目は5項目とする。						



## 工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

3 出来形 及び 出来栄	Ⅲ. 出来栄え	工 種	a	b	c	d
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い	他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い	
		コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事	<input type="checkbox"/> 1. コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 4. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 5. 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。			※該当5項目程度以上……a 該当4項目程度……b 該当3項目程度……c 該当2項目程度以下……d
		土工事 (盛土・築堤工事等)	<input type="checkbox"/> 1. 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 4. 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。			※該当4項目程度以上……a 該当3項目程度……b 該当2項目程度……c 該当1項目程度以下……d
		切土工事	<input type="checkbox"/> 1. 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 2. 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 3. 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 4. 施工面の木根等が確実に施工されている。 <input type="checkbox"/> 5. 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 6. 関係構造物等との取り合いが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 7. 残土等は適切に処理されている。			※該当6項目程度以上……a 該当4項目程度……b 該当3項目程度……c 該当2項目程度以下……d
		護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 1. 通りがよい。 <input type="checkbox"/> 2. 材料のかみ合わせがよい、またはクラックがない。 <input type="checkbox"/> 3. 天端、端部の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 4. 既設構造物とのすりつけがよい。			※該当3項目程度以上……a 該当2項目程度……b 該当1項目程度……c 該当項目なし……d
		鋼橋工事	<input type="checkbox"/> 1. 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 2. 部材表面に傷、錆びがない。 <input type="checkbox"/> 3. 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 4. 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。			※該当4項目程度以上……a 該当3項目程度……b 該当2項目程度……c 該当1項目程度以下……d
		地すべり防止工事	<input type="checkbox"/> 1. 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 4. 全体的な美観が良い。			※該当3項目程度以上……a 該当2項目程度……b 該当1項目程度……c 該当項目なし……d

## 工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

3 出来形 及び 出来栄	Ⅲ. 出来栄え	工 種	a	b	c	d
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
		舗装工事	<input type="checkbox"/> 1. 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 2. 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 4. 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 5. 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。			※該当5項目程度以上……a 該当4項目程度……b 該当3項目程度……c 該当2項目程度以下……d
		法面工事	<input type="checkbox"/> 1. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 3. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 4. 全体的な美観が良い。			※該当3項目程度以上……a 該当2項目程度……b 該当1項目程度……c 該当項目なし……d
		基礎工工事 (地盤改良等を含む)	<input type="checkbox"/> 1. 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 端部、天端仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 施工管理記録から不可視部分の出来栄えの良さがうかがえる。			※該当3項目程度以上……a 該当2項目程度……b 該当1項目程度……c 該当項目なし……d
		コンクリート橋工事	<input type="checkbox"/> 1. コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 4. 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 5. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 6. 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 7. 全体的な美観が良い。			※該当6項目程度以上……a 該当4項目程度……b 該当3項目程度……c 該当2項目程度以下……d
		塗装工事 (工場塗装を除く)	<input type="checkbox"/> 1. 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 2. 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 3. 補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 4. ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。			※該当4項目程度以上……a 該当3項目程度……b 該当2項目程度……c 該当1項目程度以下……d
		植栽工事	<input type="checkbox"/> 1. 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 2. 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 3. 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 4. 植栽帯の全体的な美観が良い。			※該当3項目程度以上……a 該当2項目程度……b 該当1項目程度……c 該当項目なし……d
		防護柵(網)工事	<input type="checkbox"/> 1. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 3. 部材表面に傷、錆びがない。 <input type="checkbox"/> 4. 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 5. きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。			※該当5項目程度以上……a 該当4項目程度……b 該当3項目程度……c 該当2項目程度以下……d
		標識工事	<input type="checkbox"/> 1. 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 2. 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 標識版、支柱に変色がない。 <input type="checkbox"/> 4. 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な取り扱いがしやすい。			※該当4項目程度以上……a 該当3項目程度……b 該当2項目程度……c 該当1項目程度以下……d

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は－を記入する

土木工事（第3評定者）

3 出来形及び出来栄え	Ⅲ. 出来栄え	工 種	a	b	c	d
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
		区画線工事	<input type="checkbox"/> 1. 塗装の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 2. 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 3. 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 4. 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。			※該当4項目程度以上……………a 該当3項目程度……………b 該当2項目程度……………c 該当1項目程度……………d
		造園工事	<input type="checkbox"/> 1. 施設構造物の肌、通り、収まり等仕上げの状態が良い。 <input type="checkbox"/> 2. 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 3. 遊具等の作動が安全でかつ良好に作動する。 <input type="checkbox"/> 4. 維持管理等の配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な景観がよい。 <input type="checkbox"/> 6. 上記以外で、他工種の項目から確認できる事項。			※該当5項目程度以上……………a 該当4項目程度……………b 該当3項目程度……………c 該当2項目程度以下……………d
		コンクリート 2次製品工事 (L型, BOX, U字溝, 縁石, ブロック, BF等)	<input type="checkbox"/> 1. 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 天端仕上げ, 端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 5. きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的に美観が良い。			※該当5項目程度以上……………a 該当4項目程度……………b 該当3項目程度……………c 該当2項目程度以下……………d
		下水道工事	<input type="checkbox"/> 1. 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 付属構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> 4. 付属構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 5. 既設構造物のすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 6. 埋め戻し及び路面復旧の状態が良い。			※該当5項目程度以上……………a 該当4項目程度……………b 該当3項目程度……………c 該当2項目程度以下……………d
		機械設備工事 (土木用)	<input type="checkbox"/> 1. 仕上り状態が良く、全体的な美観に優れている。 <input type="checkbox"/> 2. 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が優れている。 <input type="checkbox"/> 3. 異常な振動、騒音がなく、動きもスムーズで、総合的な機能、運転性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 4. 公共物としての安全、環境、維持管理への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 5. 溶接、塗装、組立等細部に渡る配慮が良い。			※該当4項目程度以上……………a 該当3項目程度……………b 該当2項目程度……………c 該当1項目程度以下……………d
		電気設備工事 照明設備工事 その他類似工事 (土木用)	<input type="checkbox"/> 1. 構造物等にきめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 2. 公共物としての安全、環境維持管理等への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 3. 構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 製作上の補修痕跡がない。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な取扱いがしやすい。			※該当4項目程度以上……………a 該当3項目程度……………b 該当2項目程度……………c 該当1項目程度以下……………d
		維持修繕工事	<input type="checkbox"/> 1. 小構造物等にも細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 2. きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 3. 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 全体的な美観が良い。			※該当3項目程度以上……………a 該当2項目程度……………b 該当1項目程度……………c 該当なし……………d

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

土木工事（第3評定者）

3 出来形 及び 出来栄え	Ⅲ. 出来栄え	工 種	a	b	c	d
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い	他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い	
		通信設備工事 受変電設備工事 その他類似工事 (土木用)	<input type="checkbox"/> 1. 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 2. 公共物としての安全、環境、維持、管理への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 3. 構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 制作上の補修痕跡がない。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な取扱いがしやすい。		※該当4項目程度以上……………a 該当3項目程度……………b 該当2項目程度……………C 該当1項目程度以下……………d	
		水道施設工事	<input type="checkbox"/> 1. 全体の仕上がり良く、見栄えがする。 <input type="checkbox"/> 2. 付属構造物の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 既設構造物との摺り付けが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 路面復旧の状態が良い。 <input type="checkbox"/> 5. 施工管理記録等から不可視部分の出来栄えの良さがうかがえる。		※該当4項目程度以上……………a 該当3項目程度……………b 該当2項目程度……………c 該当1項目程度以下……………d	
		上記以外の工事	<input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： ※ 最大考査事項は5項目とする。		※該当4項目程度以上……………a 該当3項目程度……………b 該当2項目程度……………C 該当1項目程度以下……………d	

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する

建築・電気設備・機械設備工事（第3評定者）

3 出来形 及び 出来栄	Ⅲ. 出来栄え	工 種	a	b	c	d
		建築工事 (新築)	<input type="checkbox"/> 1. きめ細かな施工がなされ取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 関連工事との調整がなされ全体に調和が良い仕上である。 <input type="checkbox"/> 3. 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> 4. 仕上がりの状態が良好で色調が均一で色むらが無い。 <input type="checkbox"/> 5. 外構を含め全体的美観が良好である。 <input type="checkbox"/> 6. 既存部分や関連設備との調整がなされ全体に調和が良い仕上げである。 該当4項目以上……a 該当3項目以上……b			<input type="checkbox"/> 1. 関連工事との調整が悪く全体に調和が悪い。 <input type="checkbox"/> 2. 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が悪い。 <input type="checkbox"/> 3. 建物全体の美観が悪い。 <input type="checkbox"/> 4. 既存部分や関連設備との調整が悪く全体に調和が悪い。 該当2項目以上……d
		(改修・修繕)	<input type="checkbox"/> 1. きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 既存部分や関連設備との調整がなされ、全体に調和が良い仕上げである。 <input type="checkbox"/> 3. 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> 4. 仕上がりの状態が良好である。 該当3項目以上……a 該当2項目以上……b			<input type="checkbox"/> 1. 関連工事との調整が悪く、全体に調和が悪い。 <input type="checkbox"/> 2. 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が悪い。 <input type="checkbox"/> 3. 美観が悪い。 <input type="checkbox"/> 4. 既存部分や関連設備との調整が悪く、全体に調和が悪い。 該当2項目以上……d
		電気設備工事	<input type="checkbox"/> 1. きめ細かな施工の配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 2. 関連工事との調整がなされ、全体に調和が良くとれた仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 3. 使用者に対する安全及び環境への配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> 4. 高い品質・性能が確保されている。 <input type="checkbox"/> 5. 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。 該当4項目以上……a 該当3項目以上……b			<input type="checkbox"/> 1. 関連工事との調整が悪く、全体に調和が悪い。 <input type="checkbox"/> 2. 使用者に対する安全及び環境への配慮が悪い。 <input type="checkbox"/> 3. 品質・性能が確保されていない。 該当2項目以上……d
		機械設備工事	<input type="checkbox"/> 1. きめ細かな施工の配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 2. 関連工事との調整がなされ、全体に調和が良くとれた仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 3. 使用者に対する安全及び環境への配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> 4. 高い品質・性能が確保されている。 <input type="checkbox"/> 5. 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。 該当4項目……a 該当3項目以上……b			<input type="checkbox"/> 1. 関連工事との調整が悪く全体に調和が悪い。 <input type="checkbox"/> 2. 使用者に対する安全及び環境への配慮が悪い。 <input type="checkbox"/> 3. 品質・性能が確保されていない。 該当2項目以上……d
		出来栄えの評価内容： 仕上がり、性能に直接影響しない垂直水平度、塗装むら、給油、文字標識、清掃等				

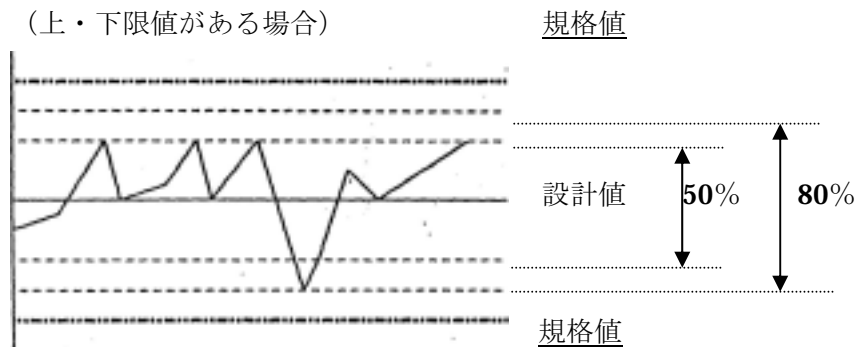
別紙－４

【記入方法及び留意事項】

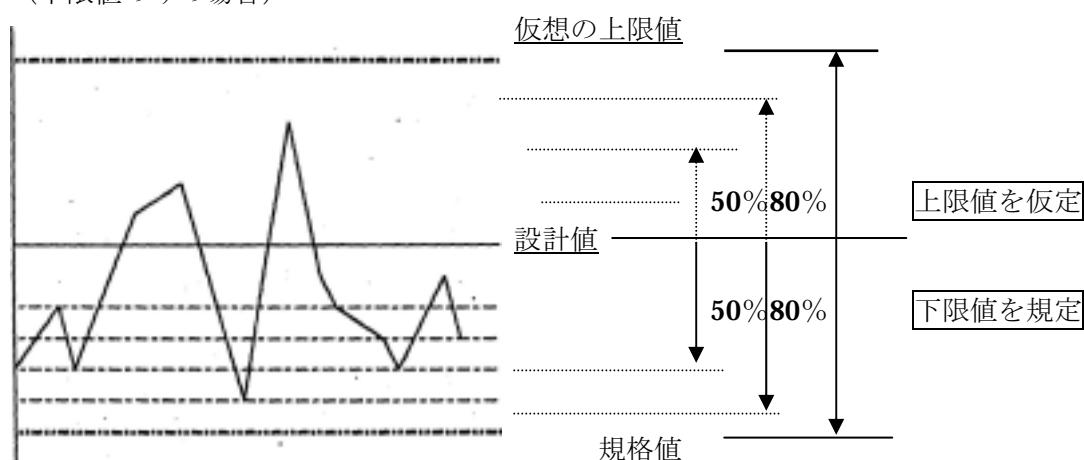
1. 出来型及び品質のばらつきの考え方

【管理図の場合】

(上・下限値がある場合)

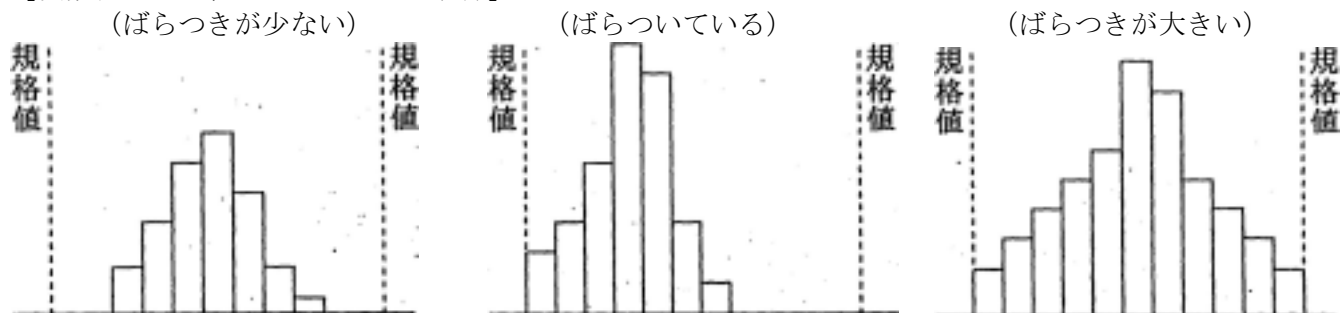


(下限値のみの場合)



※上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつきの%を考慮する。

【度数表または、ヒストグラムの場合】



2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評定する、なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
- (3) 評定は「上記以外の工事」欄を活用する。

3. コンクリート構造物のクラックについて

- (1) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、**C** 評価とする。
- (2) 「進行性または有害なクラックがある」場合、無処理の場合は、状況に応じて、**d** または **e** 評価とする。

4. その他

「施工プロセス」チェックリストを活用して、評定を行う。  
 「4. 高度技術」「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、請負者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行う。

工事成績採点の考査項目別運用表（土木工事）における工種区分及び内容分類表（参考）

工種区分	工種内容
コンクリート構造物工事	道路改良、土留、側溝工事：現場打ち擁壁工、函（管）渠工、現場打ち側溝工、山止工、道路地盤処理工及びこれらに類する工事 共同溝等工事を含む
土工事（切土、盛土、築堤等工事）	工種区分工事における切土、盛土、築堤等の土工事のみ施工となる工事
護岸・根固・水利工事	河川工事：築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水利工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、護岸工等の補修及びこれらに類する工事
鋼橋工事	鋼橋等の製作、運搬架設、塗装及び修繕に関する工事：鋼橋製作工、架設工、塗装工、桁連結工、橋梁検査路設置工、高欄設置工、橋梁補修工（鋼板接着・増桁）、スノーシェッド（鋼構造）、ロックシェッド（鋼構造）
砂防構造物工事	砂防工事：堰堤工、流路工、抑制工、抑止工、床固工、集水井工、集排水井ボーリング工及びこれらに類する工事
地すべり防止工事	落石なだれ防止工、集水井工、集排水井ボーリング工、排水トンネル工及びこれらに類する工事
舗装工事	舗装の新設、修繕工事：セメントコンクリート舗装工、アスファルト舗装工、セメント安定処理路盤工、アスファルト安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、コンクリートブロック舗装工、路上再生処理工及びこれらに類する工事
法面工事	法面における種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工コンクリート又はモルタル吹付工、現場打砕工等及びこれらに類する工事
基礎工事（地盤改良等を含む）	コンクリート、鋼管、鋼管井筒等の基礎工事及び地盤改良等の単独発注された工事
コンクリート橋工事	工事現場における現場打ち、PC 桁の製作、架設及び製作架設に関する工事（工場製作桁を含む）
塗装工事	工種区分工事における本体工と別途発注された塗装工事
トンネル工事	トンネル：トンネル工事、シールド工法、推進工法による工事 ただし、本体工を完成後別件で照明設備、舗装、側溝等を発注する場合、又は供用開始後の照明設備、吹付け、舗装、修繕工事等は除く
植栽工事	道路街路、公園工事及び緑地整備工事における植栽のみを行う工事
防護柵・標識・区画線等配置工事	道路、橋梁工事等における単独発注された防護柵、標識、区画線等及びこれらに類する工事
造園工事	公園工事及び緑地整備工事：敷地造成工、園路広場工、植樹工、芝付工、花壇工、日陰棚工、ベンチ工、池工、遊戯施設工、運動施設工及びこれらに類する工事
コンクリート 2 次製品工事	2 次製品の L 型擁壁、ボックスカルバート、U 字溝、縁石、ブロック、ベンチフリューム等及びこれらに類する工事
下水道工事	下水道工事：開削工法、小口径推進工法、シールド工法、作業員が内部で作業する推進工法による管渠工事及びポンプ場、処理場工事における土木関係に類する工事
維持修繕工事	工種区分工事における、主に簡易な修繕工事
土木関係（機械、電気設備工事）	道路設備：道路照明灯、道路情報施設、その他これらに類する機械、電気、通信設備 下水道工事：マンホールポンプ、ポンプ場、処理場における電気・機械・通信設備 トンネル工事：照明、通信設備、その他これらに類する設備（本体工と別途発注された場合）

備考 1. 多工種複合工事の取り扱いは、主たる工種で評価する。なお、多工種で評価対象が重要な場合はこの限りではない。

2. どの工種に属さない場合は、「上記以外の工事」欄を活用する。（考査事項理由を挙げ判定する。）